

(以下は Cullgen Inc.による英文プレスリリースの日本語訳です)

Cullgen は当社の共同創業者による ALK PROTAC に関する論文が European Journal of Medicinal Chemistry に掲載されたことを発表

標的蛋白質分解誘導技術を活用した新薬開発を行うバイオ医薬企業である Cullgen Inc.は、当社の共同創業者である Jian Jin 博士と Yue Xiong 博士等による未分化リンパ腫キナーゼ (ALK) の画期的な低分子分解誘導化合物に関する論文が European Journal of Medicinal Chemistry に掲載されたことを発表しました (当該論文: <https://doi.org/10.1016/j.ejmech.2018.03.071>)。ALK は受容体型チロシン・キナーゼをコードします。健常人の組織において、その発現は非常に低いものの、ALK はリンパ腫、肺がん、腎臓がん、乳がん、結腸がん、および食道がんといった多くのがん種において、主に染色体転座を通じて発現します。ALK が改変したことによって起こる幾つかの悪性腫瘍において ALK は有効な標的であることが示されています。すでに FDA 承認済みの幾つかの ALK 阻害剤は臨床上のベネフィットを示しておりますが、ほぼ全てにおいて薬剤耐性が起こり、その効果が限定的になっています。薬剤耐性をうまく克服できる新しい治療方法があれば患者様の治療成績に大きな影響を与えることとなります。Jin 博士と Xiong 博士等による本研究により発見された低分子誘導化合物は、FDA 承認済みの ALK 阻害剤とは異なる作用機序 ALK を標的とし、新しい治療方法をもたらす得るかも知れません。

Cullgen Inc. について

Cullgen はユビキチン化を介した標的蛋白質分解誘導技術を活用した新薬開発を行う企業です。当社の研究領域はがん、炎症性疾患及び自己免疫疾患に対する優れた治療方法の開発に焦点を当てています。詳しくは当社ホームページ(<http://www.cullgen.com/>)をご覧ください。

※プレスリリースの原文は Cullgen Inc.のホームページにおいてもご覧いただけます。(英語)